【学校通信】

平成 28 年 6 月 24 日

第 9 号

西中の風

伊丹市立西中学校長
大西　規之

学力向上を目指して　３

７．読書量を増やします。

平成２７年度全国学力調査、学習状況調査の伊丹市の結果から、「読書が好き」と回答した子どもの方が学力調査の正答率が高いということがわかりました。

本校では平成２７年度、１人あたりの１ヶ月の読書冊数は平均２．１３冊でした。市内の中学校の目標冊数は３．５冊ですので、大きく下回っております。

そこで、昨年度から図書館司書と図書ボランティアの皆様のお力を借りて、学校図書館の本の貸し出しのバーコード化を図っております。１９，０００冊ある本１冊ずつにバーコードのシールを貼っていただいております。スーパーマーケットのレジのように、バーコードを読み取る機械に通しますと、コンピュータに情報が入力され、すぐに本を貸し出すことができます。今までのような手作業とは違い、簡単に短時間で本が借りられるようになりました。

また、将来的には学校図書館の本とバーコード貸出用のコンピュータをカートに乗せ、昼休みに各教室を巡り、「出張図書館」としての本の貸し出しも検討中です。

さらに、７月には「図書館まつり」も企画しております。実施の目的は、①図書館を利用することの楽しさを知ってもらう。②図書館利用者を増やし、読書量を増やすの２つです。開催日は、７月１２日(火)～１４日(木)の昼休み１３：００～１３：２０となっております。実施内容は、①１０問程度の図書館の本に関するクイズ、②貸出スタンプラリーです。景品として、クイズ全問正解者の中から抽選で選ばれた生徒にブックカバーを、スタンプラリーで３日間制覇した生徒にしおりをプレゼントします。文化委員がクイズやポスター、景品を作ってくれます。景品をもらえるように、学校図書館に足を運びましょう。

これを機に、また、夏休みを前にして、たくさん本を借りて読み、一人でも「読書好き」の生徒が増えることを願っています。

８．思考力、判断力、表現力の育成

思考力、判断力、表現力を高めるために、本校では様々な取り組みを行っています。

定期テストや実力テストでは、記号で答える問題ばかりではなく、文章や言葉で答える問題を少なくとも１問は入れるようにしています。

また、終礼時には各クラスで「１分間スピーチ」を行ったり、３年生では「学年スピーチ大会」を開催したりしています。

本校では１年生から３年生までを縦割りにした「きょうだい学級」をつくっています。その「きょうだい学級」を活用して７月には発表会を企画しています。実施の目的は、「きょうだい学級」内での親交を深め、２学期の行事につなげることと、スピーチを行い表現力の向上を図ることです。内容は、①各自テーマにそってスピーチ原稿を作成して練習する。②クラスを２班ずつ３分割し、３分割された各グループが、「きょうだい学級」の１年、２年、３年の３つのクラスにそれぞれ集まり、そこで全員によるスピーチ発表会を行い、評価するということです。スピーチのテーマは、１年生は「林間学校」、２年生は「トライやる・ウィーク」、３年生は「西中のよいところ」です。日時は７月８日（金）５、６校時に行います。どんなスピーチをしてくれるか、今から楽しみです。